

自治区連会報

第54号
編集発行者
下妻市自治区長連合会
広報編集委員会

「議員定数の削減に関する陳情書」の 提出とその後について

下妻市自治区長連合会会長 田崎光男



自治区長連合会の区長の皆様並びに自治区に加入されている皆様、また、市民の皆様におかれましては、日頃より、地域のために、自治会の活動にご協力を頂き、深く感謝申し上げます。

さて、皆様のお力添えと役員の皆様のご尽力により、私たち自治区長連合会では、下妻市議会議員の定数を現在の二十名から十八名に削減する陳情書について、内容に賛成いただいた三十五名の理事の方の署名捺印を添え、令和元年八月十九日に市議会に提出いたしました。八月二十三日に令和元年第三回定例会が開会し、九月二日には「議員定数に関する特別委員会」が設置され、審議が始まりましたが、会期内での採決は行われず、継続審議となりました。

その後、十月に開催された特別委員会、また、十一月の第四回定例会の会期中に開催された特別委員会を、自治区長連合会の正副会長及び各支部長の皆様と傍聴しました。特別委員会での市議会議員の皆様の見解としては、十二月の市議会議員の改選も迫っており、また、若い新人候補のためにも議員定数を削減することなく、定数削減は選挙後とする意見も多く、採決まで至らず、再び、継続審議となりました。

十二月には、定数二十名で、市議会議員選挙が行われましたが、その結果は、新人五名の若い市議会議員が新たに加わることになりました。その後の十二月二十三日に開催された市議会臨時会において、「次回の一般選挙から十八人に削減する」動議が提出され、賛成多数で可決される運びとなりました。これにより、今後、市議会に議員定数削減に係る条例改正案が提出されることになるものと思いますが、引き続き、市議会の動向を見守ってまいりたいと考えております。

議員定数の削減につきましては、自治区長連合会の取り組みに携わられた区長の皆様、また、陳情の意図をくみ取っていたいただいた市議会に対し、深く敬意を表すものでございます。この度の市議会の迅速な対応により、市議会がさらに、市民の皆様身近なものとなるとともに、市政発展にご尽力いただきますよう祈念申し上げます。市民の皆様におかれましては、引き続き、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「議員定数の削減に関する陳情書」の提出と経緯

期日	内容
令和元年 6月20日	自治区長連合会正副会長会議及び役員会において、議員定数の削減について話し合い、各支部での意見を確認することになった。
7月11日	自治区長連合会支部長会議において、議員定数の削減について、自治区長連合会理事会で協議することを決した。
7月31日	自治区長連合会正副会長会議において、「議員定数の削減に関する陳情書」(案)の内容等を協議した。
8月7日	自治区長連合会理事会において、自治区長連合会が議員定数の削減に取り組むことを決した。
8月19日	市議会議長に陳情書を提出し、同日付けで受理された。
9月2日	「議員定数に関する特別委員会」(以下「特別委員会」という。)が開催され、委員長及び副委員長が選出された。
9月9日	「議第54号 陳情の審議結果について」が市議会から通知され、陳情が審査中であることが通知された。
9月19日	自治区長連合会正副会長会議において、陳情書受理後の経緯を説明するとともに、特別委員会の傍聴を協議した。
10月21日	特別委員会を自治区長連合会の正副会長及び支部長が傍聴。
11月15日	特別委員会を自治区長連合会の正副会長及び支部長が傍聴。
11月19日	「議第72号 陳情の審議結果について」が市議会から通知され、陳情が審査中であることが通知された。
12月8日	下妻市議会議員一般選挙執行
12月23日	令和元年第1回下妻市議会臨時会において、「次回の一般選挙から18人に削減する」動議が提出され、賛成多数で可決された。

自治会や地域の活動にご協力を！

そば打ち講習会を行って

中居指代表区長 野村 操

十一月三十日に、中居指地区自治会員を対象として、そば打ちの講習会を中居指コミュニティセンターで開催しました。

当日は、前代表区長の中尾幸一さんを講師として迎え、そば打ちは初めてという人や、そば打ちは何回か経験したがうまくつながらずに、短いそばになってしまうという人など、

様々な人が参加してくれました。最初に中尾さんが一連の作業工程を分かりやすく説明実施し、その後、各人がそば粉を七割、つなぎ粉を三割で、五百gの玉に挑戦しました。初めての人は手ほどきを受けながら、経験のある人はなるほどと納得しながら打ちました。

中居指コミュニティセンターは、

熱心に作業をする参加者たち

調理設備が整っており、中尾さんが茹で上げ、みんなと一緒に食べました。初めて挑戦した人たちは、自分で打ったそばが食べられる事に感激していました。これからは、自分の家でもそば打ちをして腕前を上げ、年越しそばが上手に打てるよう、何回か続けて講習会を開いてほしいと感想を述べていました。

今回の講習会に参加した人たちからは、今まであまり話をしたことのない人や、世代を超えて話題がつながり、とても良かったと喜ばれました。今後も設備が



整ったコミュニティセンターを活用して、地域の交流の輪を広げていこうと思います。

健康長寿を願って - 大宝支部 -



平川戸地区では、6年前からコミュニティセンターを活動拠点として、健康長寿の取組みを始めています。具体的には、シルバーリハビリ体操とスクエアステップの運動を月に2回、実施しています。現在、地区内の18名の方が参加し、それぞれ体力に応じて運動しています。体操はもちろんの事、終了後のお茶を飲みながらのコミュニケーションも皆さん楽しみにしています。今後も、「丈夫で長生き」をめざして、健康長寿の輪を広げていきたいと考えています。



丁寧に均一にのぼします。

自主防災組織を作りましょう！

時代と世代をつなぐイベント 区長杯ソフトボール大会

原・羽子代表区長 猪瀬憲一

原・羽子地区では、毎年恒例のソフトボール大会が開催されます。令和元年は、去る十一月三日、第三十六回の区長杯ソフトボール大会が開催されました。

天候に恵まれた秋空のもと、旧千代川中学校グラウンドにおいて、来賓各位を迎え、和やかに開催されました。

第三十六回という大会回数が物語る通り、親子二代に亘って続く大会です。最近では、孫が参加しているというケースも見られます。

今から三十六年前といいますが、昭和五十八年頃になるかと思いますが、当時は、ママさんバレーが盛んな時代で、お父さんたちが、地域



ごとに何かのスポーツをするという事は稀な事でした。そのような時、千代川村では、「パパさんソフト」いわゆるシニアソフトボールの連盟が発足し、活動を始めました。三十歳以上で村内居住者というような厳しい規定の中で行われましたが、各集落とも、チームを作ってこぞって参加をし、盛大な大会となりました。

これに触発され、この連盟の大会だけでは物足りず、原・羽子地区での大会を始めたという次第です。原・羽子地区には、四つの集落があります。当初は、各集落でそれぞれ二チームずつ出場するという程の盛り上がり様でした。

以来、三十六年、規模は若干縮小されつつありますが、地域の「親睦・融和」という所期の目的は十分に果

たされてきていると思います。そもそも、原・羽子地区は、旧玉村を分村して、旧千代川村に合併した地区です。歴史的に見ても、お上や官の都合で、旧宗道村と旧石下町との間で離合を繰り返した経緯がある事から、地区としての団結には大変強いものがあります。今後、このつながりを大切に、この大会をはじめ、各種の活動を通して、地区の「親睦・融和」と、住みよい地域社会の維持・継続に資することができればと祈念しています。

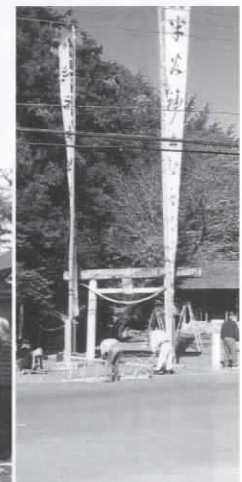


祭礼の準備 — 上妻支部 —

半谷地域の人びとが多数集まる神社の祭礼が、雨の降る中、テントを張って開催されました。

古くから、30年に一度の持ち回りで当番になった班は、1ヶ月前から祭礼の準備を始めます。神社の入口に旗を揚げ、しめ縄を作ります。女性陣は、宴会用に昔から変わらない料理を作り、宴会に備えます。

祭礼の当日は、テントを張った特設の宴会場で祝宴が始まります。集落のみんなが集まる年に一度のイベントであり、お互い、よもやま話に花を咲かせます。



自治会や地域の活動にご協力を！

「常会だより」の発行

柳原東自治区長 飯塚和夫

柳原地区では、地域の身近な行事や出来事をはじめとし、市での役員会・区長会の状況連絡、季節の健康維持のための情報、仏教を話題とした内容などの一般的な事も含めた知識的な話題も折込みながら、「常会だより」として、幅広い情報を発信しております。常会だよりは、各種

情報の共有とコミュニケーションづくり役に立ち、地域のつながりを一層密にしております。

特に柳原地区は、小貝川に隣接しており、過去より水害に対する関心が高い地域です。下妻市主催の区長等対象の防災訓練で研修したマイタムラインについては、誰もが必要

な知識であり、理解をしてもらいたいことから、自主防災意識の更なる高揚を図るため、研修後、即座に常会だよりで柳原地区内全戸を対象に、具体的に周知を行いました。そのほか、国体開催と協力の状況や、夏祭り・秋祭りの様子など、多種に亘つての内容を掲載し、お知らせしております。



幅広い情報を発信しています。

福代地の花守 - 騰波ノ江支部 -



春は「桜とチューリップとポピー」、夏は「ひまわり」、秋は「彼岸花とコスモス」が咲き、道行く人々に喜ばれているのが、福代地（騰波ノ江駅の西に接する集落）の花畑です。

集落の守り神（大日様）の境内地は、子どもの遊び場として賑わっていましたが、今では訪れる人も少なく、殺風景な場所になっていました。

桜を植え、草刈をし花壇を造り、花守が守っている大日様です。

柳原常会だより

令和元年7月26日
柳原常会発行
第11号

☆令和初の柳原夏祭り挙行☆

7月20日・21日の両日に柳原古来からの伝統行事である発祭りが、梅雨明け前にもかかわらず、天候にも恵まれた中で、子供達の元気な掛け声と共に行われ無事に終了しました。神様の渡御により柳原地区の繁栄と各家々の家族繁栄を願ってお祈りしたところです。



P-(1)

柳原常会だより第11号

自主防災組織を作らしましょう！

「高道祖七不思議」を歩く

本田代表区長 塚田好克



秋晴れの中行われた歩く会



唐猫塚 (民地内)

高道祖地区には、「高道祖七不思議」と言われる、古くからの伝説があります。私は、小さいころ、父親(明治生まれ)からこの話を聞かされました。父も、祖父から聞かされたものだと思います。これらの話がいつ頃から語り伝えられたのかわかりませんが、七不思議を簡単に紹介します。

一、逗孔塚伝説 人寄せ事が出来たとき、塚に向かつて「お椀とお膳、何人分お貸し下さい」とお願いすると用意されていた。

二、唐猫塚伝説 高麗の国から持ち帰った虎の耳を神社の近くに埋めました。その後、付近の猫が毎夜この塚に集まり、歌や踊りに興じたとき



6年生 手作りの看板

れる。

三、片葉の葦伝説 美しい姫様が恋焦がれた方を慕って旅をしていて、当地で亡くなってしまう。その時、ついていた葦の杖が根を張り、片方だけに葉をつける片葉の葦となりました。

四、鏡ヶ池伝説 池面に波が無く、晴天の時だけ、西の富士山や東の筑波山が映るとされました。

以上四ヶ所は、本田地区にあり、唐猫塚、片葉の葦は現存しています。

五、乳草ヶ池伝説 池のそばで乳飲み子を拾い、貰い乳等で育てていました。ある日、池のほとりで草の切り口から乳のような汁が出ているのを見つけ、その汁で子供を育てることができました。

六、弥六ヶ清水伝説 弥六という男

がその清水を飲むと酒になり、他人が飲むとただの水であったとされる。

七、筑波隠し伝説 高道祖から明野に抜ける途中に塚があり、一歩下がれば筑波山が見え、一歩上がると見えなくなる場所があったそうです。

今年度は、高道祖地区ふれあいの集い「歩く会」が十一月二日(土)に開催され、十数年ぶりに「七不思議伝説を歩く」こととなりました。

下妻市民の会、小学校が中心となり、企画しました。園児・一般の二キロ

支部研修視察に参加して

— 下妻支部 —

10月26日～27日に支部研修視察を実施した。1日目の八ッ場ダム視察では、実際にダム周辺を見学して、完成までの経緯や特色等について、ボランティアガイドの方から懇切丁寧な説明を頂いた。

折から台風19号が猛威を振るった後で、空だったダムは満水状態だった。各地で災害が頻発したが、利根川水系は八ッ場ダムの建設効果もあり、甚大な被害には至らなかった事実を知らされ、改めて防災への認識を再考させられた研修であった。



コースから、五く六年生・一般の八キロコースの四コースに分散して行われました。当日は天候に恵まれ、絶好の開催日となりました。到着時刻を合わせるように、コース別にスタートし、休憩所で遊ばせるなどして、時間調整をおこないました。昼食時には、親子又はグループをつくり、用意された豚汁を堪能し、楽しい時間を過ごしました。

今回の歩く会は、親子のふれあい、地域住民の親睦、地域の再発見などに寄与することになったと思います。

自治会や地域の活動にご協力を！

下妻市表彰式において一般功労表彰を受賞

10月24日、ピアスパークしもつまにおいて、令和元年度下妻市表彰式が行われ、代表区長または自治区長を通算10年以上務め退任された、4名の方々が一般功労表彰を受賞されました。おめでとうございます。

一般功労表彰（地方自治の進展）

- ◆代表区長
 - 野部 明紀 (平川戸)
 - 栗原 豊 (福田)
- ◆自治区長
 - 小島 文三 (下木戸)
 - 故 飯島 治 (本城町2)

※順不同・敬称略
()内は、代表区又は自治区の名称



活動日誌

◆令和元年◆

- 9月19日 正副会長会議
- 10月3、4日 役員研修(新潟県)
- 10月10日 市長との対話集会(千代川中学校区)
- 10月17日 県自治会連合会「情報交換会」(笠間市)
- 10月21日 議員定数の削減に関する特別委員会傍聴
- 11月13日 下妻市戦没者追悼式参列
- 11月15日 議員定数の削減に関する特別委員会傍聴
- 11月21日 正副会長会議・広報編集委員会・役員会

◆令和2年◆

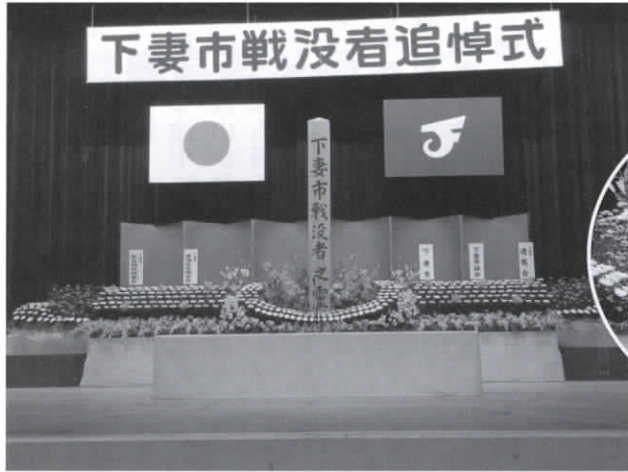
- 11月26日 県自治会連合会第3回理事会
- 12月14日 市長との対話集会(下妻中学校区)
- 12月15日 市長との対話集会(東部中学校区)
- 1月25日 自治区連会報(第54号)発行
- 2月7日 県自治会連合会「講演会」(ひたちなか市)
- 2月 正副会長会議 ※予定
- 3月 役員会・理事会 ※予定

下妻市戦没者追悼式に参列しました

十一月十三日、市民文化会館において、下妻市戦没者追悼式が厳かに行われ、区長会役員が参列しました。自治区長連合会を代表し、田崎会長が追悼の辞を述べました。



追悼の辞を述べる田崎会長



編集後記

色鮮やか！光が織り成す幻想風景・ファンタジックな光景に心が躍る、イルミネーションのシーズンが到来しました。

先日立ち寄った高速道路SAにおいてある地図付きの情報誌「ハイウェイオーカー」に、季節のおすすめスポット(関越道)がありましたので、ご紹介します。

- ①ぐんまフラワーパーク イルミネーションフェスタ「妖精たちの楽園」
- ②高崎光景や、タワー壁面でのプロジェクトショーマッピング上映は必見。
- ③西武園ゆうえんちイルミージュ 自然をテーマに樹木・葉をイメージした色合いのランタンやバルーンアートが園内を飾る。
- ④榛名湖イルミネーション 五十五万球点灯し「水中ツリー」をはじめとする多彩な光が湖面に美しく映し出される。



自主防災組織を作りましょう！